

C02a 突発天体研究における国際変光星メイリングリスト VSNET の活躍

野上 大作、加藤 太一、今田 明、久保田 香織、川道 俊見(京大)、山岡均(九大)、馬場 肇(早大)、他 VSNET 管理者グループ

我々は激変星やX線連星などの突発的現象を起こす天体を中心的な話題として、広く変光星に関する議論や情報交換を行うための国際メイリングリスト VSNET(Variable Star NETwork)を1994年に創始した。そして翌1995年に、配送されたメールのアーカイブや重要なトピックの速報・まとめの公開用にWWW/ftp siteを作成した。このメイリングリストによる情報共有の即時性とweb pageを通じたアーカイブデータへのアクセスの容易さは、突発天体の研究を大いに進める要因となり、プロ・アマチュアを問わず世界中から600名程の参加者を誇る程に成長している。

Google Scholarによると、web page公開から10年を経た今、何らかの形で本文中にVSNETに関する記述のある文献は466件にのぼっている。これらの中でVSNETの役割は、突発天体の増光発見情報に基づいた追跡観測の誘導、国際共同観測の機動的な形成等という動的なものがクローズアップされがちだった。しかし、論文等でも引用されるVSNET上での議論のアーカイブの公開や、様々な形で主にアマチュアから報告される沢山の観測データアーカイブから、目的の星のデータのみを抽出する機能を用いた増光現象の統計的な研究を可能にするなど、静的な面での貢献も大きい。本講演では後者の貢献により生み出されたいくつかの論文を通して、突発天体研究におけるアーカイブデータの利用方法や重要性を紹介する。